

令和6年度  
地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

キックオフミーティング 資料

活動団体の活動におけるテーマ

地域内資源循環の拡大と地域課題の解決による  
持続可能な社会の形成

活動団体の活動地域	愛知県半田市及びその周辺地域
活動団体名	半田市地域循環共生圏推進協議会
中間支援主体名	愛知県半田市

# 活動団体

## 半田市地域循環共生圏推進協議会

### 目的

半田市及び周辺地域における人材、資源・エネルギー、資金の地域内循環の拡大と同時に地域課題の解決を図り、持続可能な社会を形成します。



もっと人へ。健やかな街づくり  
**八洲建設株式会社**



地域で生み出す、地域につながる

**半田・知多  
地域エネルギー株式会社**



株式会社 **ビオクラシックス半田**  
bioklassics Hamana Ltd

設立 1946年5月

事業 総合建設業、再生可能エネルギー事業

取り組み ZEB化改修/SBT・ISO14001取得/現場のCO2排出量測定

設立 2023年5月

事業 PPA/脱炭素コンサルティング/電力小売り事業

取り組み エネルギーの地域循環による地域振興

設立 2017年2月

事業 バイオガス発電、熱・排ガス供給、副産物の販売

取り組み 半田市バイオマス産業都市構想プロジェクトの実施

## 活動地域について

愛知県半田市は、古くから海運業、醸造業などで栄え、知多地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきました。また、良好な日照条件を活かした太陽光発電や、港湾機能を活用したバイオマス発電など再エネ発電事業が豊富に立地しています。

一方で、畜産業が盛んであるが都市近郊型の立地のため、畜産由来の臭気が長年の地域の課題となっている他、農業従事者の担い手不足、国際情勢の影響を受けた光熱費・肥料価格の高騰など、農業経営の不安定化が課題となっています。

2016年に半田市バイオマス産業都市構想を策定し、畜産ふん尿等を利用したバイオガス発電と、その排熱・排ガスを利用した植物工場を中心とした4つの事業化プロジェクトにより、「循環型社会の形成」「農業の振興」「畜産臭気の低減」を目指すと共に、先進的な産業振興を図ります。



### 基本情報

人口 : 12万人  
世帯数 : 5万世帯  
面積 : 47.42km<sup>2</sup>

## 活動計画（概要）

地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

脱炭素型農業への転換や地域循環ループの拡大により、**経済的にも持続可能な社会**を形成し**地域全体としてメリット**を享受している

地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

あらゆる年代・職種のステークホルダーを巻き込むことで、地域課題に対して**多様な視点**で取り組んでいく。自治体と連携して地域課題解決事業を行う企業や、脱炭素経営を行う企業の知見と地域内外のネットワークを活用することで、**実現可能性を高める**。

ローカルSDGs事業として取り組む内容

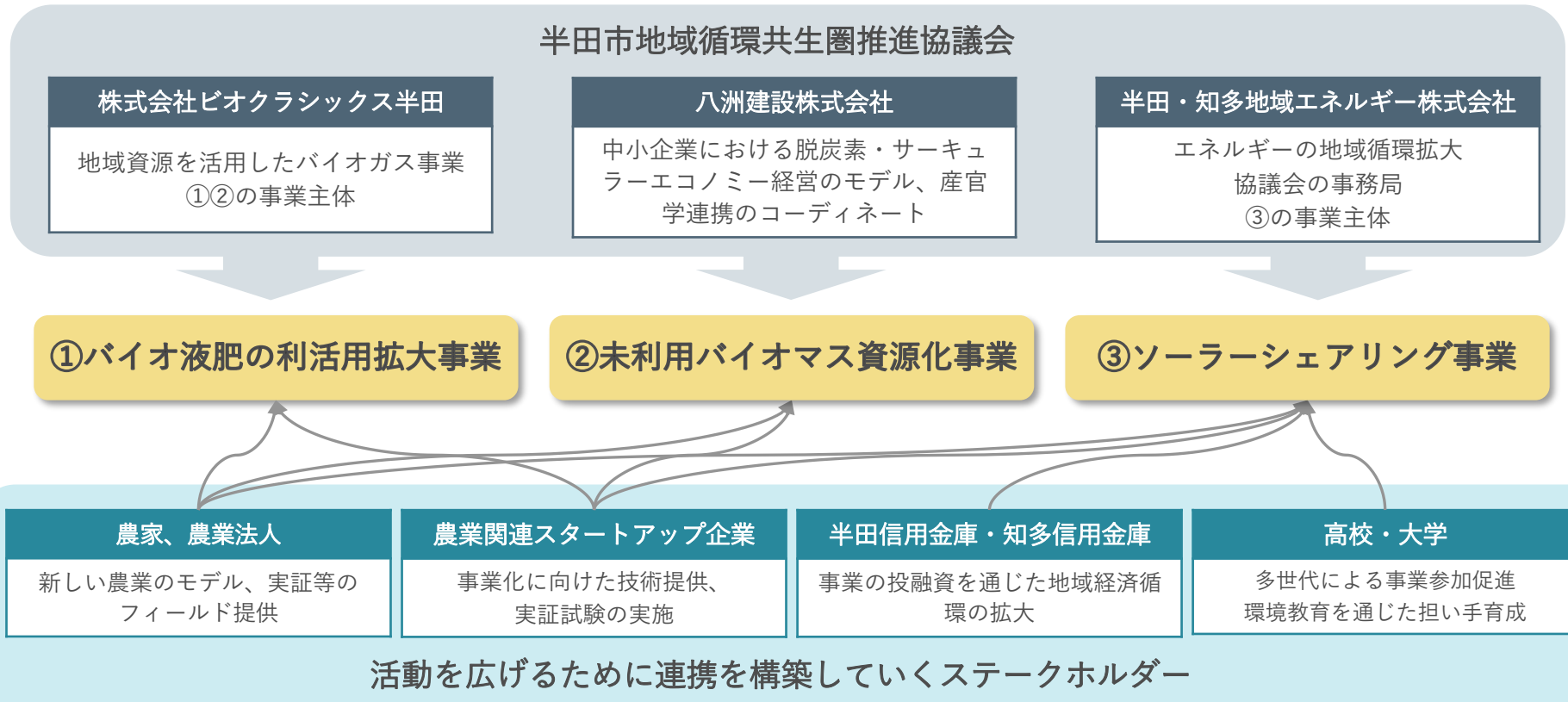
- ① バイオガス発電施設で産出される**バイオ液肥**の利活用拡大事業
- ② 剪定枝や農業残渣などの**未利用バイオマス**資源化事業
- ③ 農業と太陽光発電を同時に実施する**ソーラーシェアリング**事業

地域の現状

都市近郊型の畜産業による**臭気問題**、高齢化による**農業従事者の担い手不足**、化石燃料の高騰による**光熱費の高騰**と**農業経営の不安定化**といった課題がある。

# 目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

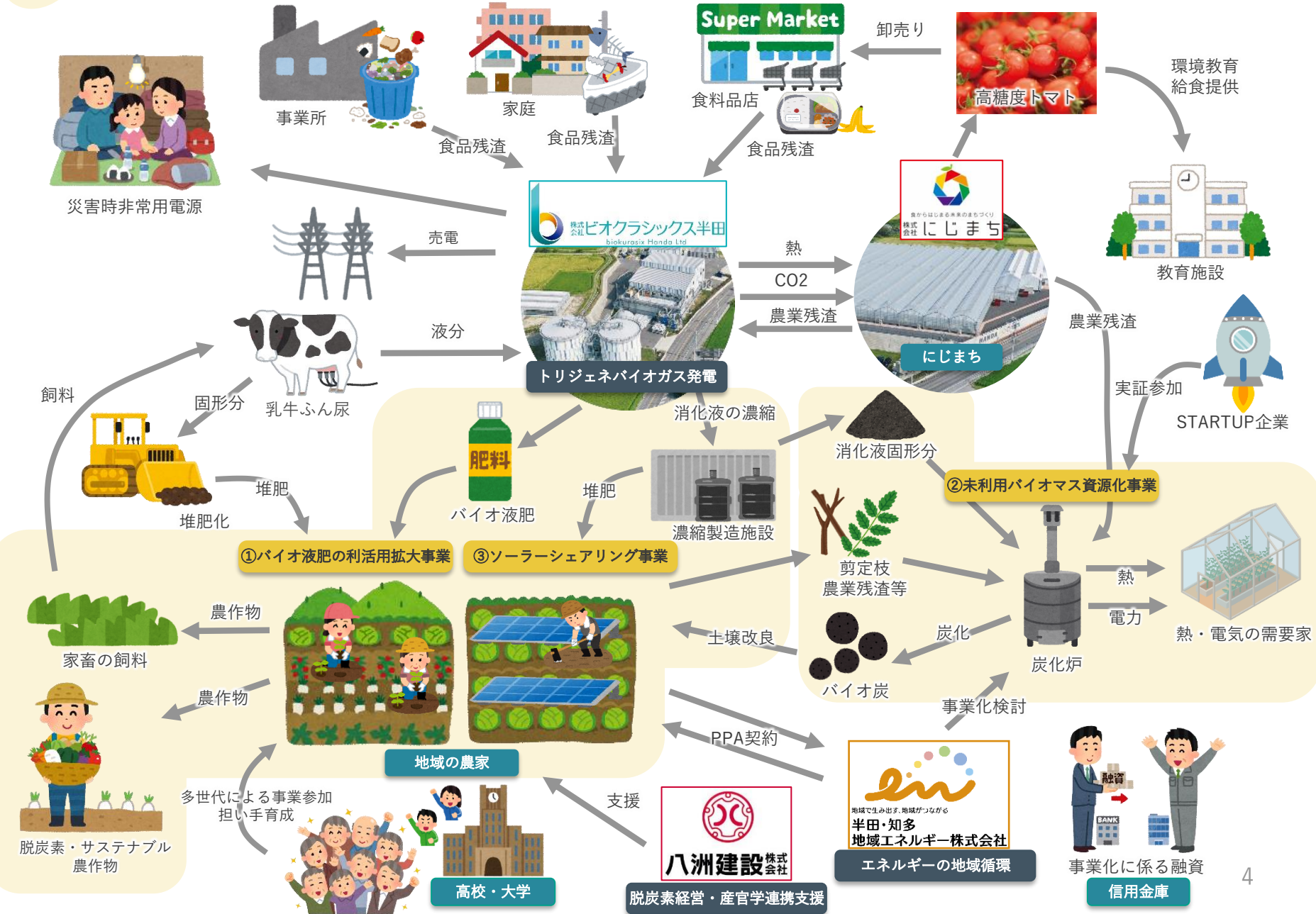
## 現時点での体制



## 足りない資源

- バイオ液肥の活用やソーラーシェアリングといった脱炭素型農業に関心があり、実用化に向けた検討や実証試験等協力いただける農業従事者とのつながり
- 農業生産に効果が見込めるバイオ炭の製造・販売、バイオ液肥の使用
- 熱と電力の需要家

# ローカルSDGs事業の詳細



## 3か年状態目標



### 2026年度末の状態目標

- ・ 事業実施
- ・ 国等による支援策調査検討



### 2025年度末の状態目標

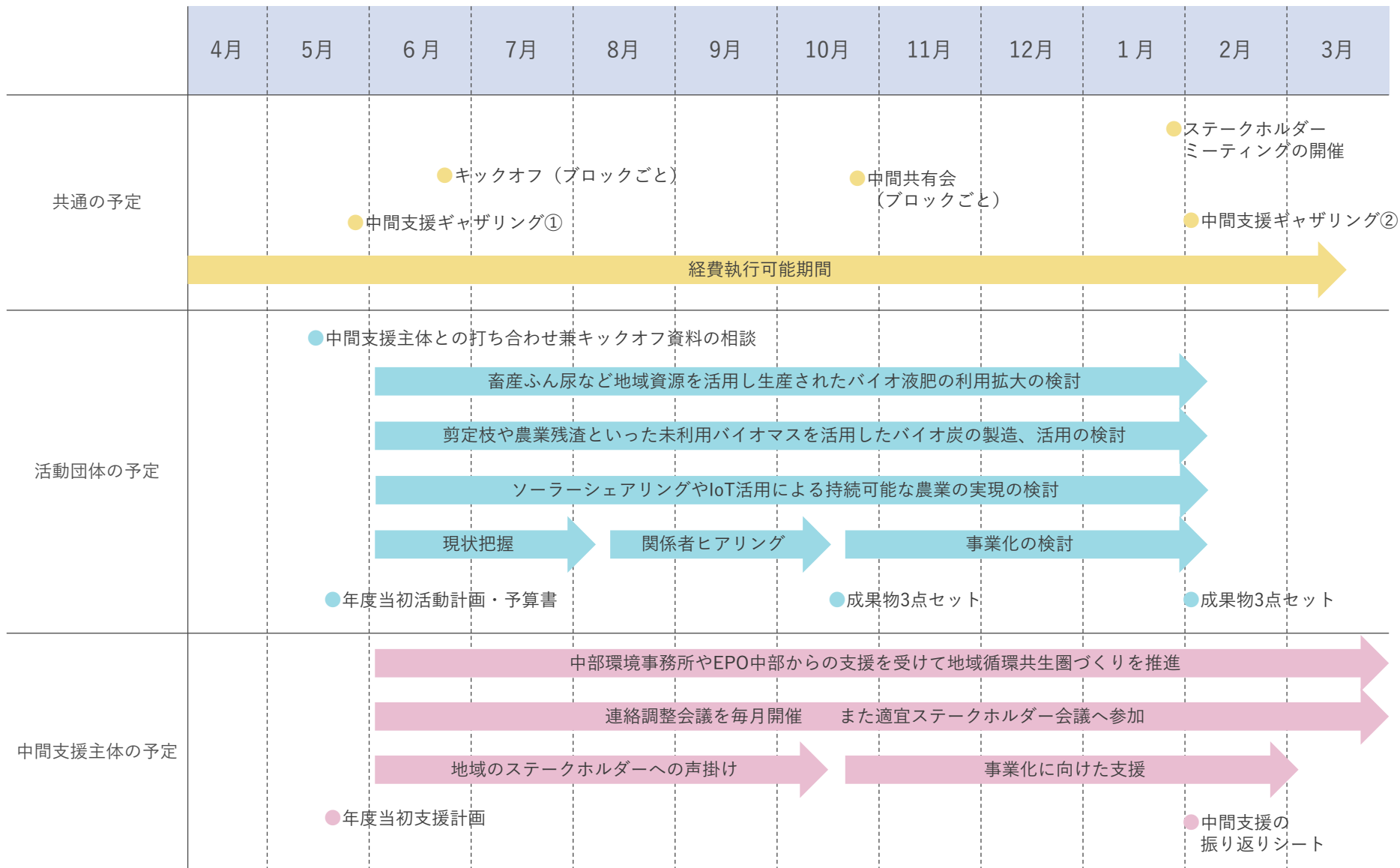
- ・ 事業化検討
- ・ 実証試験の実施

### 2024年度末の状態目標



- ・ 地域内の多様な主体に対しプラットフォーム参画へ向けた調整を行い、仲間を探す
- ・ 地域課題の現状把握、課題解決につながる事業の精査により地域のビジョンを描く
- ・ 事業内容の検討と事業主体体制を検討し、事業体制を整える
- ・ 事業可能性調査の実施、先進地ヒアリングにより事業化への課題整理を行う

# 活動計画



## 中間支援主体より

### 中間支援主体 半田市の紹介

半田市バイオマス産業都市構想（平成28年策定）に基づき、食品残渣や畜産ふん尿などを原料としてメタンガス発電を行い、発電工程で生成される排熱・排ガスなどを農業に活用するなど、循環型社会の実現を目指している地方自治体。

### 活動団体の取組へのコメント、中間支援の方針・計画

活動団体の取組には、様々なステークホルダーが参画することが、事業の成功・拡大に必要と感じている。

様々な角度から寄せられる意見・提案等を柔軟に受け止め、本活動へ助言・情報提供することで、事業化されたプロジェクトが中心となり、地域における循環を生み出せるよう支援していく。

行政としての情報発信力を活用し市内外へ本活動のPRを行う中で、農家を中心とした様々なステークホルダーとの新たな繋がり構築に役立てるとともに、地域循環の担い手育成を行政組織内で継続して実施することで、本活動の継続性を確保していく。